

24場出場予定選手&展望



戸田	2/26 ~ 3/3	安定感ある古結宏が中心 小池修平の攻撃力光る
につぼん未来プロジェクト競走 in戸田		古結宏は当地は大崩れなくきっちりまとめる。的確なさばきで主役を務める。決定力ある走りが魅力の小池修平は直線系が仕上がれば楽しみ十分。地元で期待したいのは向後龍一。ターン回りを仕上げて機敏に運ぶ。武田光史、岡祐臣も当地V歴あり。現在A2級もキレあるハンドルの春園功太にも注目したい。
◎	古結 宏 小池 修平	
○	武田 光史 向後 龍一	
△	岡 祐臣 渋谷 明憲	
×	大橋純一郎 山ノ内雅人	
注	春園 功太 石田 貴洋	

桐生	2/13 ~ 18	新田雄史が軸 藤岡俊介 と伊藤将吉は新年好発進
第19回競艇タイムス杯		SG3冠、GI3冠の新田雄史が中心となる。昨年は見島GIIを含め5Vをマークしており、当地一般戦は目下2連続優勝中だ。藤岡俊介は1月の尼崎、伊藤将吉は同月の住之江でそれぞれ今年初Vを挙げている。桐生好相性の木下翔太、成長著しい砂長知輝、地元で気合みなぎる富澤祐作にも注目したい。
◎	新田 雄史 木下 翔太	
○	伊藤 将吉 藤岡 俊介	
△	前沢 丈史 中嶋健一郎	
×	佐藤 大介 前田 聖文	
注	砂長 知輝 富澤 祐作	

戸田	3/7 ~ 10	深川真二、宮之原輝紀が シリーズの主役
第5回日刊大衆杯		近況の戸田ではエンジンをきっちり引き出している深川真二。コースを奪って機敏に運ぶ。攻めのスピードは宮之原輝紀が優勢。当地は苦手意識があったが、昨年のSGクラシックでは優出。さばきで圧倒できるはずだ。直線系を仕上げて攻め込むのは平尾崇典。地元勢では有賀達也、谷津幸宏の奮闘に期待。
◎	深川 真二 宮之原輝紀	
○	平尾 崇典 前田 滉	
△	有賀 達也 松尾 拓	
×	重木 輝彦 中嶋健一郎	
注	佐藤 大佑 谷津 幸宏	

桐生	2/22 ~ 27	SG覇者の河合祐樹 松井繁筆頭に大阪勢強力
につぼん未来プロジェクト競走 in桐生		昨年チャレンジCでSG初優勝を飾った河合祐樹が目玉となるが、当節はダブルDRができるくらいに強豪がひしめく。特に大阪勢が強力で、王者・松井繁を筆頭に、記念Vが待たれる上田龍星や秦英悟、伸び仕様で魅せる藤山翔大も参戦。他にも地力確かな森高一真、中野次郎、和田兼輔らがいて激戦必至だ。
◎	松井 繁 河合 佑樹	
○	上田 龍星 秦 英悟	
△	森高 一真 中野 次郎	
×	和田 兼輔 黒井 達矢	
注	中島 孝平 藤山 翔大	

江戸川	2/13 ~ 18	正月戦を制した 佐藤大佑が再登場！
第23回日本モーターボート 選手会会長賞		A2級ながら注目は佐藤大佑。前回の当地正月戦を2コースからチルト2度でまくってV。純地元水面へ更に自信を深め、闘志満々で乗り込んでくるだろう。百戦錬磨の水面捌きを見せる三嶋誠司、大澤普司らも目が離せない。
◎	佐藤 大佑 三嶋 誠司	
○	大澤 普司 小坂 尚哉	
△	野中 一平 佐藤 博亮	
×	宇佐見 淳 永井 源	
注	鈴谷 一平 國分将太郎	

桐生	3/3 ~ 8	実力上位の湯川浩司 長田頼宗は正月の平和島V
第36回日本モーターボート 選手会会長杯		実力、実績ともに上位の湯川浩司、平和島の東京ダービーVでリズムアップした長田頼宗が節を先導する。今泉友吾は昨年5V、当地では22年にGI地区選を制している。仲口博崇も水面相性は良好。地元勢は金児隆太、早くも今年3回目となる鳥居塚孝博、フレッシュルーキー長谷川晴哉に期待がかかる。
◎	湯川 浩司 長田 頼宗	
○	今泉 友吾 仲口 博崇	
△	吉川 貴仁 江夏 満	
×	竹井 貴史 金児 隆太	
注	鳥居塚孝博 長谷川晴哉	

江戸川	2/21 ~ 26	衰えなしの速攻力！ 純地元の三角哲男
第13回ボートレース研究 ファン感謝祭		純地元・三角哲男が主役。桐生マスターズを4カドからコンマ04の仕掛けでまくり勝ち。当地戦は昨年11月に超抜出足に仕上げて優勝戦1枠も、最後は永井彪也のまくり屈して3着。当節はリベンジ戦。上位勢力図は仲口博崇、須藤博倫、市川哲也らのベテラン勢と地元気鋭の栗城匠、藤田俊祐らが挑む。
◎	三角 哲男 仲口 博崇	
○	栗城 匠 市川 哲也	
△	藤田 俊祐 須藤 博倫	
×	竹井 貴史 安東 幸治	
注	中野 希一 松本 博昭	

戸田	2/18 ~ 23	藤原啓史朗が近況充実！ 上平真二が総合力上位
BP栗橋カップ・ファイティング ボートガイド記念		近況エンジン出しが安定している藤原啓史朗。攻撃力が発揮できる水面で中心になる。総合力でリードする上平真二は五角の評価。調整力が向上している上條嘉嗣や、当地安定の山本寛久にも注目。倉持莉々は昨年10月に戦線復帰。ブランクを感じさせない走りを見せているだけに混合戦でも侮れない。
◎	藤原啓史朗 上平 真二	
○	上條 嘉嗣 山本 寛久	
△	倉持 莉々 井本 昌也	
×	平田健之佑 下寺 秀和	
注	片橋 幸貴 松尾 充	



24場出場予定選手&展望

レース場担当者

桐生：スポーツ報知・佐々木伸
 戸田：ガイド・長谷川
 江戸川：ガイド・野添
 平和島：ガイド・長船
 多摩川：トーチュウ改めマクール白川
 浜名湖：MOCHI

多摩川	2/15 ~ 19		
スタート巧者選手権！ 第20回日本財団会長賞			
◎	豊田健士郎	片岡 雅裕	
○	下出 卓矢	中辻 博訓	
△	石田 章央	荒川 健太	
×	岡 祐臣	黒柳 浩孝	
注	角谷 健吾	松本 一毅	

S巧者！ 豊田健士郎がピンラッシュだ！

注目は豊田健士郎。昨年6月の当地戦では低勝率機を立て直して優勝した。今回も1着を量産して当地連続Vを目指す。SG2冠の片岡雅裕が豊田の強力なライバル。昨年12月の三国周年を制した下出卓矢は今節も強力な伸びを引き出してVなるか。地元からは当地15Vの角谷健吾が遠征組の壁となる。

江戸川	3/1 ~ 6		
新小岩ホルモン平田杯			
◎	片橋 幸貴	渡邊 雄朗	
○	是澤 孝宏	加藤 政彦	
△	石丸 海渡	小原 聡将	
×	原田才一郎	溝口海義也	
注	佐藤 悠	今井 貴士	

江戸川無双の豪腕系・片橋幸貴に注目だ

「江戸川は地元」とも話す片橋幸貴。波風の中でも驚異的な全速を繰り出す水面走破能力は魅力。ただ機出しよりレース能力勝負だけに、良機を得る事が主役条件。是澤孝宏も元祖？ 滋賀の当地巧者。近況の当地は振るわぬが復権全力。地元勢では整備の鬼・渡邊雄朗、柔軟走法の加藤政彦ら注目。

多摩川	2/23 ~ 27		
第60回日刊スポーツ賞			
◎	長田 頼宗	土屋 智則	
○	吉田 俊彦	松本 純平	
△	勝浦 真帆	高野 哲史	
×	吉川 昭男	木村 仁紀	
注	勝浦 真帆	原 豊土	

地元代表の長田頼宗が地の利を生かす

東京支部長の長田頼宗が多摩川10回目の優勝を目指して序盤から飛ばす。土屋智則は当地にやや苦手意識もあったが近況は結果を出している。SGウィナーの底力をここで見せたい。今期は勝率を落としているものの地力上位の吉田俊彦はやはり侮れない。女子では昨年から大化けした勝浦真帆に期待だ。

平和島	2/16 ~ 21		
第24回JLC杯 ルーキーシリーズ第3戦			
◎	井上 忠政	小池 修平	
○	前田 滉	濱野 斗馬	
△	中村 日向	石本 裕武	
×	木谷 賢太	西岡 顕心	
注	登玉 隼百	竹間 隆晟	

Vハンター井上忠政を中心に強力布陣！

昨年V8の井上忠政が参戦する。新年から記念回りが続き今回はその合間参戦。総合力の高さからV候補筆頭だ。小池修平は前期F2。しかしF2持ちでも7連勝した節があり、実力値の高さは当節屈指。前田滉はまくりタイプ。2月の向かい風が強く吹くとチャンス増大。濱野斗馬や中村日向も大差ない。

多摩川	3/8 ~ 12		
第35回日本モーターボート選手会会長賞			
◎	春園 功太	田中 和也	
○	倉持 莉々	中澤 和志	
△	松村 敏	佐藤 大介	
×	高倉 和士	宇佐見 淳	
注	川井 萌	田路 朋史	

今期好調の春園功太と田中和也がシリーズけん引

今期は7点台の勝率を残している春園功太と田中和也が主役候補。ともに多摩川は得意でパチパチの熱い戦いに期待。実力派の中澤和志も上位候補の一人。松村敏、高倉和士は当地出場こそあまりないが、エンジンが仕上がればピンラッシュの可能性。倉持莉々と川井萌の女子2人も侮れない。

平和島	2/27 ~ 3/2		
DMM.com杯 ~A1級vs東京支部~			
◎	白井 英治	江口 晃生	
○	佐藤 大介	渡邊雄一郎	
△	柴田 光	池田 雄祐	
×	井本 昌也	泥谷 一毅	
注	庄司樹良々	仲 航太	

白井英治参戦のA1級軍団、迎え撃つ地元勢

オール遠征陣によるA1級8選手と地元のB級が対戦する、当地ではお馴染みの企画モノ。今回はGPレーサー白井英治が参戦して華を添える。近況当地への参加機会は少ない白井だが、かつてはドル箱水面として大活躍。地元勢では庄司樹良々、そして当地フレッシュルーキーの仲航太に一発の予感が…。

浜名湖	3/4 ~ 9		
第7回薄暮だヨ！名人集合マクール杯			
◎	服部 幸男	田頭 実	
○	三角 哲男	石川 真二	
△	鈴木 博	大澤 普司	
×	渡辺 豊	大平誉史明	
注	高塚 清一	長野 道臣	

服部幸男が買祿を示して名人位をつかみ取る

これまでオールB級で争われた名物シリーズだが、今回は級別不問の構成となった。中心は言うまでもなく服部幸男。いつものように行き足から伸びを強化してV争いを引っ張る。希代のスタート巧者たる三角哲男に田頭実、さらに石川真二が強力なライバルとなる。そして御大、高塚清一の激走も見逃せない。

平和島	3/6 ~ 10		
第27回日本財団会長杯			
◎	濱野谷憲吾	新開 航	
○	若林 将	船岡洋一郎	
△	古賀 繁輝	前沢 丈史	
×	安達 裕樹	飯山 泰	
注	中山 雄太	吉川 昭男	

平和島のスター濱野谷憲吾降臨、新開航も好相性

出走回数不足からA2級に陥落した濱野谷憲吾だが、無論実績上A1級であり、地元平和島のスターとしての地位も不動。優出漏れだった正月戦の借りを返すべく闘志を燃やす。新開航は当地への参戦回数こそ多くないが走れば好走というイメージ。若林将と船岡洋一郎は思い切りいいスタートで見せ場を作る。



常滑	2/22 ~ 25
第27回 日本財団会長杯争奪戦競走	
◎	萩原 秀人 野口 勝弘
○	三嶋 誠司 鈴木 博
△	松下 一也 和田 拓也
×	天野 友和 伊藤 将吉
注	大澤 普司 篠田 優也

スピード最上位の萩原秀人が突き進む

確固たる主役不在で混戦モード。その中でもスピード能力なら萩原秀人が一歩リードか。生命線の出足が仕上がれば縦横無尽に水面を駆け巡る。当地はとにかくエンジンを出す野口勝弘。今回も快速パワーで圧倒のシーンも。三嶋誠司・鈴木博がベテランの走りでも奮闘。一発の魅力なら松下一也に和田拓也。

蒲郡	2/17 ~ 22
愛知バス杯争奪 ABCツアーカップ	
◎	渡邊 和将 清水 敦揮
○	青木 玄太 妹尾 忠幸
△	池田 雄祐 東本 勝利
×	山下 和彦 是澤 孝宏
注	岩永 雅人 上田 健太

今期勝率トップ3の岡山トリオが中心も波乱含み

清水敦揮は1月25日現在でダービー勝率は57位。初のSG出場へ気迫のレースが続く。蒲郡との相性なら渡邊和将。当地は67周年記念を含む3Vとエンジン出しに自信を持っている。池田雄祐はF休み明けだが、地元戦だけに過剰な割引は不要だろう。1月の戸田で初Vを飾った岩永雅人が成長中。

常滑	3/1 ~ 4
トランスワートロフィー 2025	
◎	仲谷 颯仁 秋山 直之
○	坂元 浩仁 尾上 雅也
△	永田 秀二 金子 賢志
×	末永 由楽 赤羽 克也
注	金子 和之 宮下 元胤

スピード全開・仲谷颯仁がシリーズけん引

一般戦なら力量上位明白の仲谷颯仁がスピードレースでシリーズ主役を担う。近況1着量産の秋山直之はA2級で予選スタートでもV争い必至。地元で迎え撃つ主力は坂元浩仁。さらには地元初Vに燃える宮下元胤も負けてない。尾上雅也・永田秀二・金子賢志も決め手は確か。末永由楽・金子和之も地力十分。

蒲郡	2/25 ~ 3/2
中日スポーツ賞 第45回龍神杯	
◎	板橋 侑我 杉山 裕也
○	君島 秀三 北野 輝季
△	白水 勝也 吉川 喜継
×	河野 大 荒川 健太
注	鶴本 崇文 鰐部太空海

杉山裕也、北野輝季が板橋侑我らを迎え撃つ

杉山裕也は常に6点台後半から調子がいいと7点にも届かせる実力者。2008年以後の当地Vへ照準を合わせての参戦だ。前期の北野輝季は8優出2Vと好戦した反面、Fも2本。諸刃の剣となっているが、スタート力が魅力だ。波の激しい板橋侑我だが、ポテンシャルの高さは最上位。V候補の筆頭だろう。

三国	2/13 ~ 16
けーぶるちゃん。杯	
◎	仲口 博崇 島村 隆幸
○	林 美憲 梶野 学志
△	重野 哲之 杉山 正樹
×	石田 政吾 馬場 剛
注	前出 達吉 中田 元泰

多彩なメンバー集結の短期決戦!

ベテランから若手まで、多彩なメンバーが集まった4日節。主役はSG覇者の仲口博崇。近況は年跨ぎの常滑と、1月上旬の浜名湖で連続優出。ここでは格の違いを見せる。昨年GI含む6度の優勝を飾った島村隆幸が相手筆頭。当地久々も相性良い林美憲、当地3節連続優出中の梶野学志も上位狙う。

蒲郡	3/5 ~ 10
ラグーナテンボス杯争奪 ALガマの女王決定戦	
◎	三浦 永理 細川 裕子
○	浜田亜理沙 田口 節子
△	長嶋 万記 平高 奈菜
×	宇野 弥生 中谷 朋子
注	土屋 千明 廣中智紗衣

三浦永理を始め強力な遠征勢を地元勢が迎撃

三浦永理はレディースCC、GPシリーズ、クイーンズCで総合力の高さを誇示。誰が相手でも、どこのレース場でも大崩れするシーンが浮かばない。タイトルを持つ浜田亜理沙、田口節子、長嶋万記、平高奈菜もVの有力候補。細川裕子、宇野弥生の地元ツートップが強力な遠征勢を相手に牙城を守るか。

三国	2/28 ~ 3/5
第27回 日本財団会長杯水仙花賞	
◎	中辻 博訓 久田 敏之
○	坂口 周 寺田 千恵
△	竹田 辰也 為本 智也
×	山本 隆幸 谷川 祐一
注	大瀧明日香 金田 幸子

男女混合戦! 地元の男女混合の中辻博訓が混戦を断つ!

男女混合の6日節。地元の利を生かして中辻博訓が優勝を目指すライバルも多く、混戦必至。当地3Vの実績がある久田敏之と坂口周が攻撃的な走りでも上位を狙う。Fの足かせが取れて活発な動きを期待したい地元の為本智也や、女子からは寺田千恵、大瀧明日香、金田幸子が混戦に華を添える。

常滑	2/15 ~ 18
スポーツニッポン杯争奪 第41回英傑戦	
◎	近江 翔吾 高野 哲史
○	中村 晃朋 吉川 喜継
△	中山 雄太 長岡 良也
×	松山 将吾 野村 誠
注	大瀧明日香 堤 啓輔

当地巧者ぶりを発揮、近江翔吾がシリーズけん引

昨年は当地で2戦して2優出1優勝と結果を出した近江翔吾に主役の期待。エンジンもよく出すイメージだ。高野哲史は前回23年の当地戦ではV、地力ではこちらが上かも。中村晃朋・吉川喜継は一般戦の安定勢力。長岡良也は近況安定した成績。正月レース準優1号艇で敗れた中山雄太がその雪辱に燃える。

24場出場予定選手&展望

レース場担当者

蒲 郡：スポーツ報知・太田和良
 常 滑：とこなめ情報 土井勇士
 三 国：実況アナウンサー・高橋敬亮
 びわこ：サンケイスポーツ・倉橋智宏
 住之江：安達弘持
 尼 崎：日刊・北條直治

住之江 2/27～3/2

サンテレビ杯争奪ボートの時間！
ご視聴ありがとうございます競走

◎	上條 嘉嗣	前沢 文史
○	田中 和也	高倉 和士
△	桐本 康臣	石倉 洋行
×	佐藤 博亮	中嶋健一郎
注	黒柳 浩孝	前田 翔

当地巧者の前沢文史に注目

地元からは上條嘉嗣、田中和也が中心的な存在。遠征勢では前沢文史、高倉和士、石倉洋行、桐本康臣など好メンバーが揃った。その中でも注目は当地V2の実績がある前沢。現在当地では5連続優出中(V1)と相性の良さを見せつける。当地での調整も熟知しており、今回も優勝争いを演じてくるはずだ。

びわこ 2/16～21

第8回
オールサンケイスポーツ杯

◎	守田 俊介	井口 佳典
○	山田 康二	深井 利寿
△	佐々木康幸	北野 輝季
×	松井 洪弥	板橋 侑我
注	川北 浩貴	平石 和男

守田俊介が汚名返上Vへライバル勢も強敵揃った

好メンバーが集結したが、V候補の筆頭は地元の守田俊介だ。昨年の年末戦はまさかのFに泣いただけに、今回は汚名返上の走りで28回目の地元Vを飾りたい。もちろんSG6冠の手腕に陰りのない井口佳典は強敵。山田康二、深井利寿、佐々木康幸、当地では2連続優勝中の北野輝季もV争いに加わるか。

住之江 3/9～12

ボートピア梅田
開設18周年記念競走

◎	田中信一郎	守屋 美穂
○	渋谷 明憲	岡村 慶太
△	吉川 喜継	堀之内紀代子
×	宮崎 奨	落合 直子
注	石田 政吾	眞田 英二

男女混合の短期決戦！

男女混合での4日間開催だが、田中信一郎と守屋美穂を筆頭に銘柄級が揃った。特に田中は年始の王将戦で途中帰郷と不完全燃焼に終わった。今回はその悔しさを晴らすためにも負けられない戦いだ。落合直子は今年初の地元戦に初参戦。堀之内紀代子、岡村慶太なども決定力は高く、好勝負に期待できる。

びわこ 2/25～3/2

奥村佃煮提供
第2回びわこお魚0929CUP

◎	中村 有裕	中田 元泰
○	石塚 久也	重木 輝彦
△	松山 将吾	小林 泰
×	石田 章央	中野 仁照
注	平野 和明	下河 誉史

V戦線は大混戦ムード中村有裕が存在感示すか

V戦線は混戦ムードが漂うシリーズ。12期ぶりのA1級復帰を果たした地元・中村有裕がSG覇者の存在感を示したいところだが、中田元泰をはじめ石塚久也、重木輝彦、小林泰らもA1級ランカーの手腕を発揮してV争いへ。A2級では松山将吾や、ともに当地連続Vを狙う平野和明、下河誉史も侮れない。

尼崎 2/14～18

ニッカングローリー賞競走
～まくってちょ～うだい!!～

◎	山崎 郡	前田 篤哉
○	菅 章哉	市橋 卓士
△	坂口 周	横澤 剛治
×	北村 征嗣	篠田 優也
注	藤山 翔大	加藤 翔馬

まくり屋が顔をそろえて伯仲シリーズ

恒例のまくりシリーズが再び。攻撃型の選手がそろそろ。メンバー中で勝率トップは山崎郡。当地では昨年のGI近畿地区選を制するなど好相性の水面だ。菅章哉がチルトアップで大暴れの予感。坂口周、北村征嗣は安定感ある走りに期待。藤山翔大の大駆けは要注意。地元勢は篠田優也、加藤翔馬が迎え撃つ。

住之江 2/14～17

第17回森下仁丹杯争奪戦

◎	上條 暢嵩	吉川 元浩
○	森高 一真	山田 祐也
△	上田 龍星	吉田 裕平
×	君島 秀三	石丸 海渡
注	北川 潤二	西野 雄貴

主力伯仲のショートシリーズ

昨年のグランプリにも出場した上條暢嵩。今なら大阪支部の中心的な存在と言っても過言ではない。吉川元浩、森高一真などSG覇者も参戦するが、地元戦なら主役の座は譲れない。吉田裕平も昨年は記念覇者の仲間入りを果たした。今の充実度ならここでも大物食いの可能性は十分だ。上田龍星も意地見せる。

尼崎 2/23～27

BOATBOYCUP
～まくってちょ～うだい!!～

◎	湯川 浩司	田村 隆信
○	小坂 尚哉	有賀 達也
△	渡辺 浩司	濱崎 直矢
×	村上 遼	鈴谷 一平
注	澤田 尚也	柳内 敬太

湯川浩司がシリーズを引っ張る

まくりシリーズの第2弾。湯川浩司が格上の存在としてシリーズをリードする。小坂尚哉が地元の大將格として迎え撃つ。スタートから積極策が光る渡辺浩司と村上遼が虎視眈々とVを狙う。澤田尚也は果敢にアタック。当地はV経験もあり相性がいい有賀達也。地元の鈴谷一平と柳内敬太が波乱の目となる。

住之江 2/20～24

ダイスポ60周年日本MB選手会
会長杯ダイスポJC

◎	西島 義則	徳増 秀樹
○	権藤 俊光	杉山 正樹
△	井上 一輝	古澤 光紀
×	渡邊 雄朗	永田 秀二
注	小山 勉	川上 剛

権藤俊光と井上一輝の地元勢がSG覇者に挑戦状

西島義則は昨年12月のマスターズリーグを制した。今回は若手から中堅まで混じるが、当然ここでも優勝候補の1人。徳増秀樹も一般戦なら格上の存在。地元勢では、権藤俊光と井上一輝に注目したい。両者ともにターンは鋭く、実力は十分通用。地元戦ならSG覇者が相手でも簡単には負けられない。



丸亀	3/6 ~ 11	
スカパー！・JLCC杯争奪ルーキーシリーズ第5戦		
◎	末永 和也	中村 日向
○	濱野 斗馬	西岡 顕心
△	常住 蓮	安河内 健
×	井本 昌也	飛田 江己
注	島川 海輝	藤田 俊祐

末永和也が主役も地元勢が受けて立つ

今年1月に地元からつのルーキーシリーズ第2戦を制した末永和也がV戦線をリードか。しかし地元勢が気合十分で迎え撃つ。中村日向、濱野斗馬、西岡顕心のA級トリオは優勝しか狙っていないはず。冬場の地元水面の調整はお任せだ。昨年宮島のルーキーシリーズを制した常住蓮もV争いに絡んでくる。

鳴門	2/15 ~ 18	
UZUHALLオープン5周年記念競走		
◎	海野康志郎	河野 大
○	松田 祐季	堀本 和也
△	杉山 裕也	大須賀 友
×	西野 翔太	柳内 敬太
注	片岡 恵里	山崎小葉音

混戦ムードが漂う男女混合の短期シリーズ

男女混合シリーズの短期戦は断然のV候補が見当たらない。わずか2日間の予選で準優入りの18人を決める戦いだけに、初日から激しい攻防となりそうだ。近況の好調度は海野康志郎がリード。地元勢は河野大、堀本和也が地の利を生かす。女子は当地V実績のある片岡恵里に注目したい。

児島	2/10 ~ 15	
にっぽん未来プロジェクト競走in児島		
◎	濱崎 直矢	吉田 一郎
○	繁野谷圭介	久田 武
△	郷原 章平	伊藤 啓三
×	堀之内紀代子	勝浦 真帆
注	三浦 敬太	石原 翼

濱崎直矢がV候補の筆頭

A1級は濱崎直矢ただ1人。直線系を引き出すのはお手の物。スリットから飛び出して攻撃力を発揮する。当地GIホルダーの吉田一郎が堅実捌きで対抗1番手。繁野谷圭介はターン足を仕上げて上位争い。堀之内紀代子はチルトを跳ねた調整もあり侮れない。勢に乗っている勝浦真帆も見せ場を作る。

鳴門	2/22 ~ 26	
鳴門巧者決定戦競走		
◎	林 美恵	菅 章哉
○	松田大志郎	永井 彪也
△	石川 真二	松崎祐太郎
×	北川 潤二	中山 雄太
注	折下 寛法	四宮 与寛

地元コンビがV戦線をリードする

鳴門巧者決定戦競走のタイトル通り当地実績のある実力者が主力を形成するが、林美恵、菅章哉の地元コンビがツートップ。林はコース取りから見せ場をつくり、菅は代名詞となったチルトマックスで躍動する。遠征組では当地の一般戦の連続優出を続けている松田大志郎に期待したい。

児島	2/19 ~ 24	
GⅢ第23回シモデンカップ		
◎	山口 達也	石渡 鉄兵
○	平尾 崇典	中澤 和志
△	末永 由楽	赤坂 俊輔
×	濱野谷憲吾	金田 諭
注	森野 正弘	今泉 友吾

地元山口達也、平尾崇典が遠征陣を迎え撃つ

山口達也は正月シリーズを優勝して勢い加速中。同期の土屋智則や西山貴浩らとSG出場に意気込む。平尾崇典は地元のエンジン出しは定評がある。末永由楽は回り足が仕上がれば思い切ったハンドルで遠征陣を撃破。石渡鉄兵、赤坂俊輔のS攻勢は脅威。中澤和志は伸び調整を手の内に入れ上位に食い込む。

丸亀	2/13 ~ 19	
BTS朝倉開設32周年記念マクール杯		
◎	菊地 孝平	吉田 俊彦
○	吉永 則雄	岩瀬 裕亮
△	澤田 尚也	本多 宏和
×	吉川 昭男	武田 光史
注	渋谷 明憲	佐藤 航

菊地孝平が格上の走り文句なしのV候補だ

マクール杯のサブタイトルが付く今シリーズは7日間のロングラン開催。シリーズの主役の座は菊地孝平で揺るがない。一般戦ならパワーとスピード、そして質のいいスタートを決めて圧倒だ。吉田俊彦は1月浜名湖、吉永則雄も1月蒲郡とともに今年は早くも優勝歴。流れはいい。澤田尚也の一発にも注目。

児島	2/28 ~ 3/5	
サンケイスポーツ杯 ~ 第5回児島巧者決定戦 ~		
◎	池田 浩二	田中 信一郎
○	藤原啓史朗	北村 征嗣
△	西島 義則	黒野 元基
×	東本 勝利	小山 勉
注	若林 義人	平石 和男

池田浩二が主役務める

池田浩二はコースを問わずの確かなハンドワークで主役となる。田中 信一郎は当地ではGI、GIIのV実績があり、堅実な捌きで相手筆頭。藤原啓史朗はSG経験を積んでスピード戦に研きをかけている。SG覇者の西島義則、平石和男は優出ラッシュで健在。当地巧者の北村征嗣がターン足を仕上げて好勝負。

丸亀	2/23 ~ 27	
日刊スポーツカップ		
◎	坪井 康晴	丸野 一樹
○	松田 祐季	下出 卓矢
△	藤原 碧生	木下 翔太
×	田頭 実	森定 晃史
注	秋山 広一	郷原 章平

坪井康晴がV戦線の軸も接戦のシリーズ

前節マクール杯の菊地孝平に続き、今回は同県同期の坪井康晴がシリーズを引っ張って行く。まるがめ水面との相性も抜群、巧者ぶりを発揮するか。一般戦なら丸野一樹は明らかにスピード上位。松田祐季、下出卓矢の福井コンビも差のない評価。最優秀新人・藤原碧生がパワフルなレースを披露する。



24場出場予定選手&展望

レース場担当者
 鳴門：報知・田代
 丸亀：A
 児島：S・O
 宮島：BR宮島専属記者 宮崎経督
 徳山：日刊・洲上

徳山	2/17～22	
くたまつ健康パーク杯争奪戦		
◎	上野真之介	河村 了
○	田中 和也	渡邊雄一郎
△	吉川 貴仁	谷川 祐一
×	坂元 浩仁	桐本 康臣
注	春園 功太	川上 聡介

上野真之介の1強ムード
 昨年5Vと安定した活躍を見せた上野真之介。今年も地元唐津、津と連続優出の滑り出し。好調持続のまま乗り込んでくる。2月末からのGI、SG戦線へ向けリズムをつかみたいところ。次位候補多数で混戦ムードだが当地V実績がある河村了に注目。同じく当地得意な田中和也、渡邊雄一郎にも期待。

児島	3/8～13	
備南競艇事業組合 49周年記念競走		
◎	山本 修一	安河内 将
○	原田 篤志	仲谷 颯仁
△	森永 淳	作間 章
×	渡辺 浩司	前原 大道
注	中岡 正彦	澤田 尚也

山本修一がシリーズを牽引する
 地元の山本修一が正月シリーズの雪辱を果たす。常に回り足を重視した調整で、タイムがいい時は出ている証。安河内将は1月に走って予選最後に連勝。現行エンジンを経験しているのは強みだ。仲谷颯仁は開幕戦から優出ラッシュとリズムがいい。森永淳は苦手としていた当地を克服し、エンジン出し充実。

徳山	2/25～3/2	
スカパー！・JLC杯 徳山ルーキーシリーズ第4戦		
◎	佐々木完太	島川 海輝
○	宮之原輝紀	石本 裕武
△	中村 日向	前田 滉
×	山田 丈	西岡 顕心
注	宮脇 遼太	砂長 知輝

地元の佐々木完太、島川海輝が存在感示す
 V争いを盛り上げるのは佐々木完太、島川海輝の地元最強コンビ。佐々木は当地正月シリーズで優出と地元水面で存在感十分の走りを披露した。島川も地元徳山での初Vへ気合が入る。実績断然の宮之原輝紀は久々の当地戦でどんな走りを見せるか。また、昨年初Vを飾り勢いに乗る石本裕武が狙い目だ。

宮島	2/12～16	
第14回やまだ屋「桐葉集」杯		
◎	徳増 秀樹	井上 一輝
○	尾嶋 一広	稲田 浩二
△	野口 勝弘	杉山 貴博
×	小野 達哉	丹下 将
注	宗行 治哉	田中 辰彦

宮島巧者が激突する6日間シリーズ
 V筆頭は2020年当地SGグラウンドチャンピオンを準パーフェクトで優勝し悲願のSGタイトルを手中に収めた徳増秀樹。ただ昨年12月の当地戦で良機を手に入れた稲田浩二は強い内容でVをもぎ取った井上一輝も水面相性は抜群だ。これに今期リズム良好の尾嶋一広、稲田浩二の兵庫コンビが襲い掛かる構図。

徳山	3/9～15	
住信SBIネット銀行賞		
◎	北山 康介	上條 嘉嗣
○	出畑 孝典	大橋純一郎
△	渡邊 翼	石田 貴洋
×	石塚 久也	橋本 年光
注	眞鳥 章太	加藤 翔馬

北山康介がリベンジに燃える！
 北山康介は昨年12月にも当地出場。優勝戦は1枠ながら2着に惜敗したが、早くもリベンジのチャンスが巡ってきた。調整、整備に不安はなく今度こそVをもぎ取る。上條嘉嗣も当地前回は準Vと相性はいい。出畑孝典、大橋純一郎も優勝候補の一角。地元の渡邊翼も意地の走りに期待だ。

宮島	2/25～3/1	
第17回楽天銀行賞		
◎	吉永 則雄	岡村 慶太
○	北山 康介	松尾 拓
△	中島 秀治	飛田 江己
×	松井 洪弥	大須賀 友
注	馬袋 義則	浜先 真範

V戦線は激戦必至 注目 は地元で奮起の浜先真範
 稀に見る混戦となりそうな男女混合の5日間シリーズ。軸はレース運び安定の吉永則雄に、今期好リズムの岡村慶太と北山康介。ここに一発の破壊力が魅力の飛田江己が襲いかかる。この混戦をかいぐぐってくるのが地元の浜先真範。当地は昨年11月に優勝。生命線となる瞬発力のある足が備わると好走必至。

下関	2/10～15	
ヴィーナスシリーズ 北九州下関フェニックス杯		
◎	守屋 美穂	宇野 弥生
○	清楚 翔子	中川 りな
△	櫻本あゆみ	今井 美亜
×	廣中智紗衣	高懂 四季
注	津田 裕絵	塩崎 桐加

昨年13優出4Vの守屋美穂が断然の主役
 守屋美穂が断然の主役だ。昨年は5月の宮島レディースオールスターを含めて4Vの戦績。F休みから復帰後は勝負所で取りこぼすなど優勝までは届いていないが、今節こそはVをもぎ取る。速攻力は女子の中では屈指の宇野弥生がS攻勢で果敢に挑む。昨年2Vと飛躍を遂げた清楚翔子も侮れない存在だ。

宮島	3/4～9	
PALBOAT宮島開設10周年記念 第51回岩田杯		
◎	中野 次郎	長尾 章平
○	小坂 尚哉	前田 聖文
△	村岡 賢人	森永 隆
×	亀山 雅幸	柳内 敬太
注	照屋 厚仁	中村 尊

伝統の一戦・岩田杯だが例年になく大乱戦模様
 毎年、記念級レーサーが参加して盛り上がる宮島伝統の一戦「岩田杯」だが、今年はSGタイトルホルダーが不在。軸は実績上位の中野次郎。初日ドリーム戦に選出されている長尾章平、小坂尚哉、前田聖文、村岡賢人、森永隆が上位を形成しそうだが、今期のリズムいい柳内敬太や亀山雅幸の奮闘も妙味あり。



若松	2/16 ~ 20	
につぼん未来プロジェクト競走 in若松		
◎	磯部 誠	田中信一郎
○	西村 拓也	宮之原輝紀
△	黒野 元基	中島 秀治
×	竹田 和哉	柴田 光
注	古結 宏	岡村 将也

磯部誠軸にベテランから若手まで主力の層は厚い

SG覇者の磯部誠と田中信一郎がシリーズの軸になるが、西村拓也、宮之原輝紀、黒野元基、竹田和哉、柴田光、古結宏とV候補の名前を挙げればキリがないほど主力陣は充実。成長度が著しい中島秀治の走りも楽しみ。九州地区選の裏開催で地元福岡勢はA1級が不在とあって岡村将也に期待がかかる。

下関	2/21 ~ 25	
西京波者結成15周年記念 KRY山口放送杯		
◎	吉川 元浩	重成 一人
○	谷村 一哉	原田 篤志
△	石橋 道友	今井 貴士
×	山田 哲也	森永 隆
注	長尾 章平	末永 祐輝

吉川元浩が戦線をリード 地元勢の奮起も

昨年は3月の戸田SGクラシックで1枠で優出(結果は転覆失格)、GIでも4優出とSG、記念戦線でも高次元の活躍を見せた吉川元浩。一般戦においては戦力上位は明白でV最有力候補だ。地元勢も強力布陣で挑む。谷村一哉、原田篤志、森永隆、長尾章平、末永祐輝らが奮起して吉川を止めてみせる。

若松	2/26 ~ 3/3	
ヴィーナスS22戦マクール杯 ナイトプリンセスカップ		
◎	守屋 美穂	渡邊 優美
○	藤崎小百合	落合 直子
△	米丸 乃絵	松本 晶恵
×	堀之内紀代子	塩崎 桐加
注	野田部宏子	井上 未都

守屋美穂と渡邊優美の2強が抜けた存在

当地ではV4の実績を誇る守屋美穂と地元戦で気合が入る渡邊優美が抜けた2強。復帰した藤崎小百合、今年は大ブレイクしそうな米丸乃絵、安定勢力の落合直子、松本晶恵らが脇を固める。堀之内紀代子の復活劇も見てみたいところ。魅力はやはり野田部宏子。将来が楽しみな井上未都の激走もありそう。

下関	3/2 ~ 5	
公営レーシングプレス杯		
◎	中辻 崇人	岡崎 恭裕
○	林 美恵	奈須 啓太
△	金田 諭	須藤 博倫
×	市川 哲也	葛原 大陽
注	武重 雄介	後藤 翔之

中辻崇人と岡崎恭裕の福岡コンビが一騎打ち

主役を張るのが中辻崇人だ。昨年は年間8Vと一般戦では無双状態。F休み明け初戦となった1月の児島、続くとこなめもVと今年も強さは健在だ。岡崎恭裕は昨年は2VのみでSGもグラチャン出場のみだが、11月には大目標の福岡チャレンジカップがある。出場は至上命令でここで調子を上げていきたい。

芦屋	2/14 ~ 17	
西スポ杯争奪芦屋カップ		
◎	松井 繁	今垣光太郎
○	湯川 浩司	萩原 秀人
△	重成 一人	和田 兼輔
×	秦 英悟	中野 仁照
注	中岡 正彦	中 亮太

松井繁、今垣光太郎ら近畿地区の強豪が多数参戦

短期決戦に豪華メンバーが参戦。特に地区選が早めの日程だった近畿地区から、松井繁、湯川浩司の大阪勢に今垣光太郎とSG覇者が3人も登場する。萩原秀人と和田兼輔も近畿地区選、重成一人と中岡正彦、四宮与寛は四国地区選からの転戦。秦英悟も出走回数不足でA2級だが本来は記念級の実力者だ。

下関	3/7 ~ 11	
MNB R下関12th 巖流本舗杯		
◎	白井 英治	新田 雄史
○	田村 隆信	岡 祐臣
△	杉山 裕也	中田 元泰
×	山ノ内雅人	佐藤 博亮
注	中 亮太	佐々木和伸

地元エースの白井英治が断然の主役を張る

地元エースの白井英治が負けられない。昨年前半は不調に苦しみ7月徳山の1優勝のみに終わった。ただ、今年は1月の蒲郡で優勝し、幸先のいい滑り出し。一昨年8月以来、当地通算26Vへ気合が入る。新田雄史はSG、GIを問わず当地は7連続優出の実績があり水面相性は抜群。白井の脅威となる。

芦屋	2/22 ~ 27	
につぼん未来プロジェクト競走 in芦屋		
◎	茅原 悠紀	上條 暢嵩
○	永田 啓二	山田 祐也
△	平田 忠則	佐藤隆太郎
×	稲田 浩二	藤岡 俊介
注	村岡 賢人	市橋 卓士

茅原悠紀、上條暢嵩のGP戦士が登場

BBC Tを制した茅原悠紀がV候補筆頭だ。もう一人のGP戦士・上條暢嵩や山田祐也、佐藤隆太郎、稲田浩二、藤岡俊介、村岡賢人、市橋卓士、島川光男、中村晃朋らA1級ランカーがズラリ。現在A2級でも勝率7点超の西野雄貴やA1級ペースと好調な高田明と横田貴満の佐賀コンビも軽視はできない。

24場出場予定選手&展望

24場出場予定選手&展望

レース場担当者

下関：西日本スポーツ・岡部
若松：スポーツ報知・井上誠之
芦屋：スポーツ報知・井上泰宏
福岡：スポニチ・鳥飼
唐津：報知・高木
大村：報知・長谷

唐津	2/18～21	トップルーキー飛田江己のスピード戦注目
フェブラリーカップ		久田敏之は5期連続勝率7点台で安定感は一枚上手の存在。昨年3Vの飛田江己はルーキーシリーズで2勝。関東ホープのスピード戦は見どころの一つ。初A1級入りの島川海輝は昨年9月に続く当地2節連続優出を目指す。松尾昂明は節一パワーに仕上げ王道Vした昨年12月に続くからつ連覇に挑む。
◎	久田 敏之 飛田 江己	
○	島川 海輝 松尾 昂明	
△	前田 翔 白水 勝也	
×	佐々木完太 竹田 辰也	
注	松江 秀徳 浜先 真範	

芦屋	3/3～8	遠藤エミを筆頭に実力派女子レーサーがズラリ
B T S勝山開設31周年記念		初日が桃の節句の混合戦は主役も女子レーサー。SG覇者の遠藤エミは昨年、夏冬的女子PGIを制した。ここでもV候補筆頭だ。実力者の海野ゆかりにペラ調整解禁の高田ひかる、絶好調の勝浦真帆もいる。男子勢では決め手鋭い濱崎直矢や松下一也、地元の松崎祐太郎、郷原章平、里岡右貴が主軸だ。
◎	遠藤 エミ 濱崎 直矢	
○	松崎祐太郎 松下 一也	
△	海野ゆかり 高田ひかる	
×	北川 潤二 郷原 章平	
注	里岡 右貴 勝浦 真帆	

唐津	3/6～9	SGチャンプの前田将太が好さばき発揮
か・らっキーバトル		住之江GPシリーズ戦を制してSG覇者となった前田将太が主役を務める。年齢をまったく感じさせない江口晃生は今期7点ペースと相変わらずの安定感。市橋卓士は昨年11月の一般戦をまくりでV。当地連覇に挑む。井上一輝の果敢な攻めも注目。女子は関野文、浅田千亜希、深川麻奈美らが参戦。
◎	前田 将太 江口 晃生	
○	市橋 卓士 井上 一輝	
△	西野 雄貴 森野 正弘	
×	高田 明 藤山 翔大	
注	宗行 治哉 関野 文	

福岡	2/19～24	新エンジン節に桐生順平ら豪華メンバーが参戦
福岡県知事杯争奪 福岡都市圏開設35周年記念競走		GP戦士の桐生順平を筆頭に深谷知博、齊藤仁ら豪華遠征勢を篠崎元志、仁志兄弟ら地元勢が迎え撃つ構図。桐生の当地成績は好不調の波が激しいがSG、GIでも優出歴があるように相性自体は悪くない。地元勢では当地通算18Vの篠崎仁志に期待。ドル箱水面で復調のきっかけをつかみたい。
◎	桐生 順平 篠崎 仁志	
○	篠崎 元志 深谷 知博	
△	齊藤 仁 仲谷 颯仁	
×	原田才一郎 服部 幸男	
注	秋山 直之 立間 充宏	

大村	2/19～25	昨年の最多勝・中辻崇人当地好相性の椎名豊
につぼん未来プロジェクト競走 in大村 No. 2		昨年120勝で最多勝利の中辻崇人は前期F2休み明けとなった児島と常滑で連続優勝。大村も3連続優出中だ。椎名豊は21年に誕生祭で特別戦初V。ここからSG戦線へと羽ばたいた。昨年のオーシャンカップでも優出した。S巧者は若林将。金子和之は昨年のミッドV。金子賢志は当地3連続優出中だ。
◎	中辻 崇人 椎名 豊	
○	若林 将 金子 和之	
△	中村 尊 金子 賢志	
×	大池 佑来 尾上 雅也	
注	水摩 敦 木場 悠介	

福岡	3/3～8	地元の永田啓二、古澤光紀がシリーズをけん引
スポーツ報知杯		男女混合の6日節。永田啓二、古澤光紀の地元コンビが2トップを形成。永田は昨年5節当地を走り、10月に2度目の当地制覇。調整のアドバンテージを生かす。一方、古澤は年明け初戦の尼崎でVと好発進。昨年7月以来の当地で気合が入る。女子勢では川野芽唯、西橋奈未にチャンスがうかがう。
◎	永田 啓二 古澤 光紀	
○	川野 芽唯 伊藤 将吉	
△	西橋 奈未 石橋 道友	
×	永井 源 鈴木 勝博	
注	竹下 大樹 酒見 峻介	

大村	2/28～3/3	ヒゲと笑顔がステキな上平真二が大村連続Vへ
ミッドナイトボートレース in大村 8th 公営R杯		2023年のマスターズリーグで当地では20年ぶり2回目の優勝を飾った上平真二が連覇を狙う。杉山正樹も当地は3Vと相性◎。大村ミッド2Vは地元の赤坂俊輔だ。低調機さえ引かなければ期待は大きい。清水敦揮は抜群の旋回力を誇る。山口真喜子もターンは豪快だ。井上大輔が良機ゲットなら面白い。
◎	上平 真二 杉山 正樹	
○	赤坂 俊輔 清水 敦揮	
△	下寺 秀和 本多 宏和	
×	宮崎 奨 飯島 昌弘	
注	山口真喜子 井上 大輔	

唐津	2/10～13	唐津2連覇中の石倉洋行が中心
ウィンターモーニングバトル		石倉洋行は昨年4度唐津参戦。3節連続優出中で、6月と9月の一般戦を逃げと差して優勝。ライバルも絞られるメンバー構成で、連続優勝を「3」に伸ばす可能性は高い。東本勝利も当地は好相性で、2節連続優出中で18年にイン逃げVを決めている。丸亀で初V飾った横田貴満のレースぶりも注目。
◎	石倉 洋行 東本 勝利	
○	一瀬 明 横田 貴満	
△	藤崎小百合 富樫 麗加	
×	山崎 義明 赤羽 克也	
注	牧山 敦也 田中 宏典	